

【長崎県佐々町】

校務D X計画

学校における校務の負担軽減を図り、教職員の長時間労働を削減することで、児童・生徒と直接関わる時間や授業準備等、授業の質を向上させるための時間を確保し、教職員の働き方改革を進めるとともに、学校全体の指導力の向上につなげるため、クラウドツールの活用を前提とした校務D Xを積極的に推進します。

1 校務系・学習系ネットワークの統合

教職員一人一人の事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方を可能とするため、ゼロトラストの考え方に基づくアクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じた上で、ロケーションフリーで校務系・学習系ネットワークへ接続可能な環境の整備（教職員用端末の一台化を含む）に向けた検討を進めます。

2 校務D Xの推進

- (1) 教育委員会主催の教職員対象研修会において、教職員が時間的制限から開放されるようハイブリッド型・オンデマンド配信を検討します。
- (2) 学校間や教育委員会と学校との連絡や通知は、引き続き、原則、メールや共有フォルダを利用して行い、押印についても原則廃止に取り組みます。
- (3) 紙（連絡帳）で行っていた学校からの連絡配信、保護者からの欠席連絡について、連絡ツールの活用により、双方の負担軽減を図ります。
- (4) 教職員の手入力作業等については、負担軽減のためデジタル採点システム等の導入を検討します。
- (5) 「初等中等教育段階における生成A Iの利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成A Iの導入を検討します。
- (6) 次世代の校務支援システムにおいては、今後も長崎県推奨システムを使用することで、人事異動による教職員のシステム操作への不安を解消します。また、出席簿のデジタル化など校務D Xを推進するうえで必要な改修については、県下自治体と協力し県に要請します。